

日本留学海外拠点連携推進事業 南西アジア地域 (東京大学)

事業趣旨

東京大学は2014年度より、日本に留学するインド人留学生数を増やす目的として、留学コーディネーター配置事業（インド）を受託し、2018年度から「日本留学海外拠点連携推進事業 南西アジア地域」として、インドおよび周辺国も対象に取り組んでいます。

インド事務所（JSTとの共同事務所）を活用した日本の全ての大学へのご協力

有力大学・高校訪問、日印学生交流支援、日印教員間交流促進支援が活動の3本柱。月例留学コーディネーター（インド）委員会にて、活動方針を協議し各事業の企画立案しています。



インド事務所開所式



東京大学インド事務所（ニューデリー）
Ground Floor, No. B-6/22,
Safdarjung Enclave,
New Delhi - 110029, INDIA
Tel: +91-11-42032064
Email: indiaoffice.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

留学コーディネーター委員会（インド）の構築・運営

東京大学インド事務所長が委員長を務める産官学構成員による留学コーディネーター委員会で、最新の情報共有を行いながら、個々の取組にシナジー効果のあるアクションプランを協議。2014年12月に発足、2019年3月まで合計45回開催。

インド人材は待って来てもくれない・・・

55万人のインド人が86カ国に留学（2017.8）

英語圏志向、就職による成功事例・印僑ネットワークの支援

インド人は親日的だが日本が留学先になっていない、だから日本を体験して好きになってもらうことが先決

- ・産官学オールJAPANの連携した取組を構築
- ・個々の取組を活用して来日の機会を最大限に創出
- ・まずは来日して直接、日本を体験して貰い、日本ファン層を拡大
- ・日本の大学のPR活動を支援（留学説明会の開催、インド事務所H Pの活用等）

重点分野での獲得活動

日本の強みがわかる分野（新幹線・ロボット/ICT）に注力

- ・大使館推薦国費外国人留学生制度を活用したインド鉄道省からの留学生受入れに協力
- ・インド人学生から需要の高いロボット分野をハイライト、人工知能の適用分野として日本製ロボットが人気

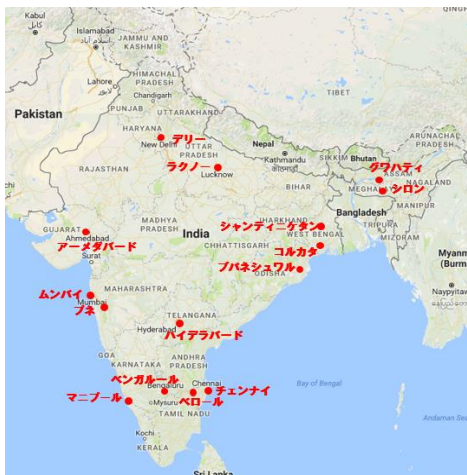


IRT Research Initiative, UTokyo

ICT系（データサイエンス、機械学習、AI、サイバーセキュリティなど）インド人材獲得は大学や企業にとって重要な課題

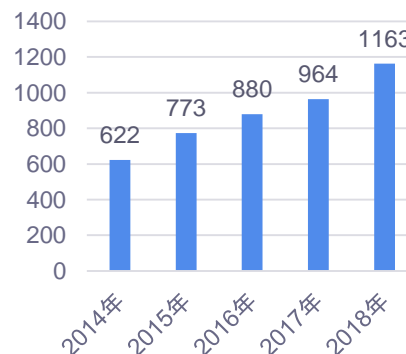
主な活動

- ① 留学コーディネーター委員会の運営
- ② 情報提供・連携活動・広報活動
 - ・各大学の資料展示、現地学生・保護者との個別相談対応、現地入試等へのご協力
 - ・英語コース・奨学金・ラボ情報・イベント・インターシップ関連情報の更新
 - ・留学生会/同窓会ネットワークを活用した留学生/社会人の交流促進
 - ・日本の大学、企業からの高度人材獲得に関する相談対応、マッチング支援
 - ・日本の姉妹都市、地域間交流支援
- ③ イベント開催・学校訪問（年間約30校訪問）
- ④ インド鉄道省人材育成に係る戦略的支援・協力
- ⑤ 各国の訪問調査（2018年度スリランカ、ネパール訪問）



【2018年度 日本留学説明会の開催地】

高等教育機関へのインド人留学生数の推移



◆2014年度の事業開始後、日本の高等教育機関へのインド人留学生数は約2倍に増加

◆2019年度よりサテライト拠点の配置（スリランカ）と南西アジア地域からの留学生数の増加に取り組む

*JASSO外国人留学生在籍状況調査（各年5月1日付）